6505 PLUS

Tube Guitar Amplifier

取扱説明書

はじめに

この度は Peavey 社製 6505 Plus をお買い上げいただき誠にありがとうございます。製品の性能を十分に発揮させ、末永くお使いいただくためにご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、お読みになった後は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

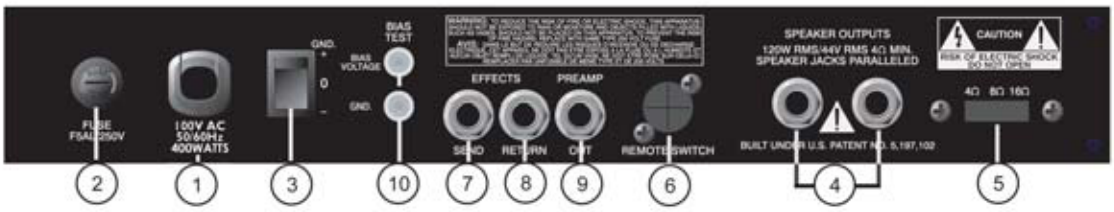
1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。異常がある場合は販売店にご相談下さい。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないで下さい。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いて下さい。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止め下さい。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止め下さい。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意して下さい。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないで下さい。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意下さい。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用して下さい。
13. AC100V、50/60Hzにてご使用下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡して下さい。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本仕様

- 完全に独立した 2 つの真空管チャンネル（フットスイッチによる切替え可能）
- 各チャンネルに“アクティブインジケーター”を搭載
- RHYTHM チャンネルに BRIGHT スイッチを搭載
- RHYTHM チャンネルにフットスイッチによる切替えが可能な CRUNCH スイッチを搭載
- 各チャンネルに独立したイコライザーを搭載
- 各チャンネルに独立したパワーアンプコントロール（レゾナンス/プレゼンス）を搭載
- 各チャンネルに独立したプリアンプコントロール（プリ/ポストゲイン）を搭載
- スタンバイスイッチ
- リアパネルにバイアステストポイントを装備
- フットスイッチによって切替え可能なエフェクトループを搭載
- フォン仕様のプリアンプ出力端子
- スピーカーインピーダンス選択スイッチ（16、8、4Ω）
- パラレル接続された 2 系統のスピーカー出力端子
- 120W 出力
- 3 つのボタンを搭載したフットスイッチが付属(取り外し可能な 62.5cm のケーブル付)

リアパネル



電源部

1. 電源ケーブル

電源ケーブルの先端は 2 ピン仕様となっています。

2. ヒューズ

5A のヒューズがヒューズホルダーのキャップ部に取り付けられています。ヒューズが切れた場合は、アンプ本体の損傷を防ぐ為に必ず同型のものと交換して下さい。ヒューズが度々切れてしまう場合は PEAVEY 正規代理店のサービスセンターに修理をご依頼下さい。

注：ヒューズを交換する場合は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

3. グラウンドスイッチ

3 段階切替可能のロッカー型スイッチを使用しています。通常、グラウンドスイッチは“中央の位置（0)”に設定します。この状態でスピーカーキャビネットからハムノイズが出力される場合、グラウンドスイッチを＋またはーに切替えて下さい。これによりハムノイズが減衰します。もしハムノイズが継続して出力される場合は、信頼ある PEAVEY 正規代理店のサービスセンターにご相談下さい。

入出力端子

4. スピーカー出力端子

パラレル接続された 2 つのスピーカー出力端子にスピーカーキャビネット（4Ω以上）を接続して信号を出力します。2 つ以上のスピーカーを接続する際はトータルインピーダンスの計算を行い、インピーダンス選択スイッチを切替えて下さい。

5. インピーダンス選択スイッチ

スピーカー出力端子に接続されたスピーカーに適したインピーダンスを選択します。2 台のスピーカーが共に同じインピーダンスの場合は、スイッチをその半分の値に設定して下さい（例：16Ωのスピーカーが 2 台接続されている場合はスイッチを 8Ωに切替え、8 オームのスピーカーが 2 台の場合はスイッチを 4Ωに切替えて下さい。）

6.　リモートフットスイッチ端子

6505 Plus に付属しているフットスイッチを接続して使用します。フットスイッチを使用する際は LEAD チャンネルが選択されていることを確認して下さい。リモートスイッチによって、チャンネルの選択、またエフェクトループに接続されたエフェクターのオン/オフを切替えることが可能です。

7.　エフェクトセンド

モノラルフォン仕様のケーブルを使用してエフェクトセンドからアンプ信号を外部エフェクターやプロセッサーへ送り、エフェクトリターンへ戻すことができます。エフェクトループには通常コーラス／リバーブ／ディレイ等のゲインエフェクトがついていない機器を接続します。また外部エフェクターのオン/オフは 6505 Plus のフットスイッチによって切替えることが可能です。

8.　エフェクトリターン

エフェクトセンドを参照して下さい。

9.　プリアンプ出力端子

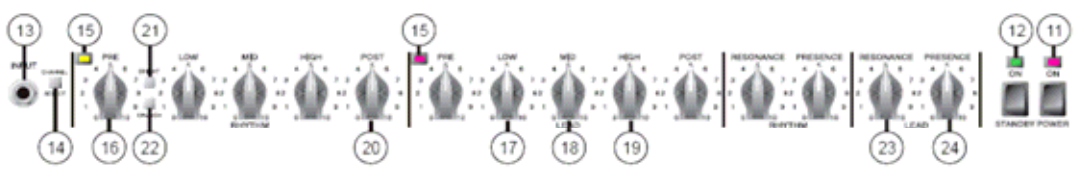
プリアンプ出力端子からアンプによって増幅される前の信号を出力することが可能です。プリアンプ出力端子にケーブルを接続した場合でもアンプは通常通り使用することが可能です。

バイアス調整システム

10. BIAS テストターミナル

グリルの裏に搭載された調節ノブと共に使用し、パワーアンプ部の真空管のバイアス調整を行います。バイアス調整はメーカーの認定する技術者のみが行います。

フロントパネル



スイッチ部

11. 電源スイッチ / LED

アンプ本体の電源を切替えます。スイッチを“ON”の位置にすると、電源 LED インジケーターが点灯し、本体に電源が供給されていることを示します。

12. スタンバイスイッチ / LED

6505 Plus を使用していない時にアンプ本体をスタンバイモードに設定します。スタンバイモード時には真空管が暖まった状態に保たれます。これによってウォームアップの時間を省くことができ、いつでもアンプを使用することが可能です。6505 Plus がオペレーションモードになっている時にスタンバイ LED インジケーターが点灯します。

プリアンプ部

13. 入力端子

6505 Plus の入力端子はピックアップの種類に関わらず、様々なギターの出力レベルに対応するように設計されています。尚、6505 Plus は非常に出力ゲインの高いアンプです。ノイズを最小限に抑える為に高品質のシールドケーブルを使用して下さい。

14. チャンネル選択スイッチ

Rhythm/Lead チャンネルのいずれかを選択します。このボタンが押されている状態の時、赤い LED インジケーターが点灯し、6505 Plus が Lead チャンネルに設定されていることを示します。またこのボタンが押されていない状態の時、緑色の LED インジケーターが点灯し、6505 Plus が Rhythm チャンネルに設定されていることを示します。付属した 6505 Plus 専用のフットスイッチを使用することによりチャンネルを離れた位置から選択することが可能になります。フットスイッチによる遠隔操作を行う際はスイッチを押して 6505 Plus が Lead チャンネルに設定されていることを確認して下さい。

15.

チャンネル選択 LED

RHYTHM チャンネルと LEAD チャンネル共に LED が搭載されており、何れかのチャンネルがアクティブ状態の時に点灯します。

16. プリゲイン

LEAD と RHYTHM チャンネルのプリゲインは入力レベルの設定を行い、全体のボリュームを調節するポストゲインと共に使用します。プリゲインを低く設定すると比較的クリーンな音質を得られ、高く設定すると倍音の豊かなディストーションサウンドを得ることが可能です。プリゲインとポストゲインコントロールはお互いに作用しあう為、音質を調節する際はまず両方のゲインを低く設定して下さい。次にプリゲインを調節してオーバードライブレベルを設定し、全体のボリュームをポストゲインで調節して下さい。

17. イコライザー（Low）

6505 Plus は各チャンネルにパッシブ・ロー／ミッド／ハイのイコライジング機能を搭載しています。

18. イコライザー（Mid）

イコライザー（Low）を参照下さい。

19. イコライザー（High）

イコライザー（Low）を参照下さい。

20. ポストゲイン

プリゲインを参照して下さい。

21. BRIGHT スイッチ

RHYTHM チャンネルのみ使用可能な高域のブーストスイッチです。尚、ブースト量はプリセットされています（6dB @2kHz）。

22. CRUNCH 選択スイッチ

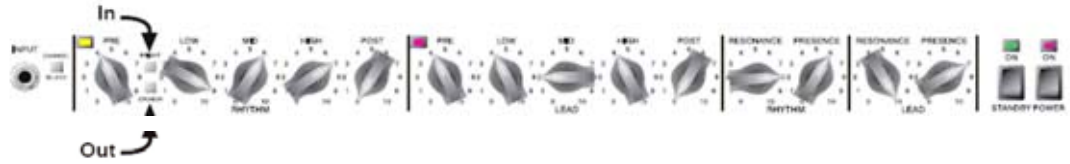
RHYTHM チャンネルのゲインをブーストし、2 つ目のリードチャンネルのような役割をします。押した状態でオンに切替わります。

23. レゾナンス/プレゼンス

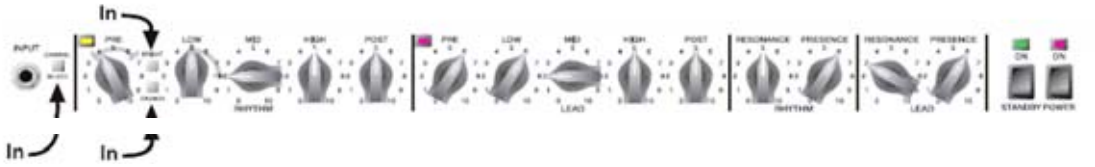
Peavey のアンプのみに搭載されたレゾナンスコントロールは低周波帯域のパワーアンプゲインをスピーカーキャビネットのレゾナンス／アッテレーター・ポイントにおいてブーストするように設定することができます。つまり、レゾナンスコントロールは EQ のローのように機能し低周波数帯域のロールオフを補正することができます。またプレゼンス・コントロール（14）も同様に機能し、高周波数帯域をブーストします。この機能の調節を行う場合は、実際にお使いのキャビネットから音を出力し、良く聴き比べることをお勧めします。

セッティング例

サザンロック/カントリー



HP シグネチャーセッティング



フットスイッチ

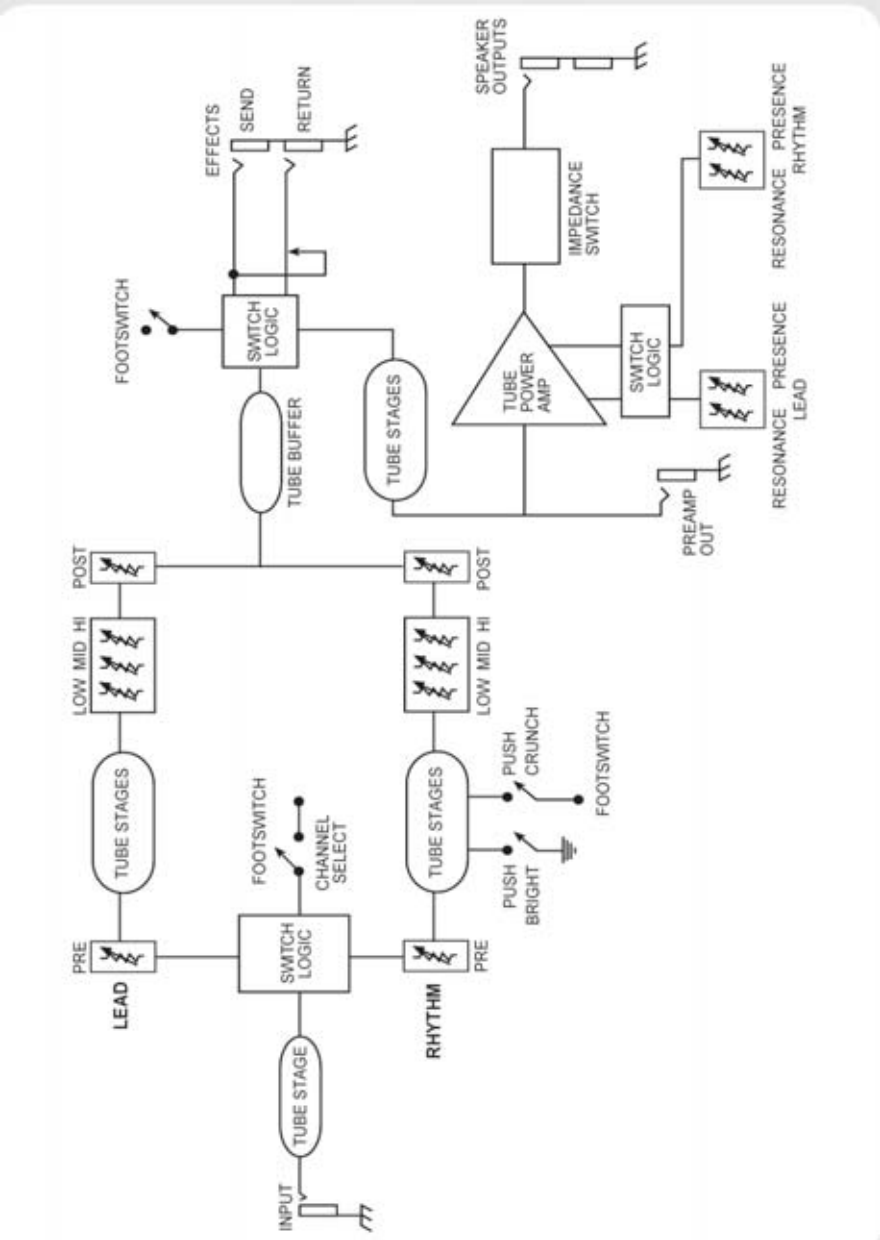
スイッチがオンの時にエフェクトループを使用可能です。

スイッチがオンの時に RHYTHM チャンネルの Crunch が使用可能です。

RHYTHM と LEAD チャンネルを切替えます。

注：チャンネル選択スイッチがオンの時のみフットスイッチが使用可能です。

ブロックダイアグラム


SPEAKER OUTPUTS
EFFECTS
SEND
RETURN
IMPEDANCE SWITCH
PRESENCE RHYTHM
RESONANCE RHYTHM
FOOTSWITCH
SWITCH LOGIC
TUBE POWER AMP
SWITCH LOGIC
TUBE BUFFER
TUBE STAGES
PRESENCE LEAD
RESONANCE LEAD
PREAMP OUT
POST
POST
LOW MID HI
LOW MID HI
TUBE STAGES
TUBE STAGES
PUSH CRUNCH
FOOTSWITCH
FOOTSWITCH
CHANNEL SELECT
PUSH BRIGHT
PRE
PRE
SWITCH LOGIC
LEAD
RHYTHM
TUBE STAGE
INPUT

製品仕様

パワーアンプ部

定格電力とインピーダンス

120W RMS（16、8、4Ω）

クリッピングレベル

130W RMS（16、8、4Ω）
@5% THD、1kHz、120VAC

周波数特性

50～20kHz（+0、－3dB @100W RMS into 8Ω）

ハム＆ノイズ

＞75dB（定格電力以下）

パワーアンプ EQ

アクティブプレゼンス：　+10dB @2kHz
アクティブレゾナンス：　+10dB @キャビネットレゾナンス周波数

消費電力

400W、100VAC、50/60Hz

真空管

12AX7 X 6 本：(Clean/Crunch×1、LEAD×3、EFX×1、Phase Splitter×1)
6L6GC X 4 本

プリアンプ部

以下の条件で計測　@1kHz

Low＆High：	@10
Mid：	@0
Bright：	OUT
LEAD＆RHYTHM POST：	@10
プレゼンス＆レゾナンス：	@0dB
プリゲインの公称レベル：	@5
プリゲインの最低レベル：	@10

プリアンプハイゲイン入力

インピーダンス：　472kΩ

LEAD チャンネル（チャンネル選択スイッチオン）

公称入力レベル：　　－60dBV、.1mV RMS
最低入力レベル：　　－76dBV、.15mV RMS

CLAEN チャンネル（チャンネル選択スイッチオフ）

公称入力レベル：　　－30dBV、30mV RMS
最低入力レベル：　　－34dBV、20mV RMS
最大入力レベル：　　0dBV、1.0V RMS
（Crunch スイッチオン時は 24dB マイナス）

エフェクトセンド

負荷インピーダンス：　≧47kΩ
公称出力レベル：　　－10dBV、300mV RMS

エフェクトリターン

インピーダンス：　　470kΩ
公称出力レベル：　　－10dBV、300mV RMS

プリアンプ出力

負荷インピーダンス：　≧47kΩ
公称出力レベル：　　+10dBV、3V RMS

サイズ

67.6(W)×25.4(H)×29.8(D)cm

重量

21.9kg

正規輸入代理店

株式会社　キョーリツコーポレーション

本社
〒468-0002 名古屋市天白区焼山1丁目813番地
カスタマーサポートセンター
TEL (03)5614-2081 FAX (03)5614-2166
support@kcmusic.jp